



こんにちは
日本共産党

市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

2015年4月いっせい地方選挙

暴走安倍内閣にレッドカード!!

馬場(こうへい)府議と西野さち子市議は、後援会の皆さんとともに台風が迫る10月13日・19日の二日間で桃山から醍醐地域をキャラバン宣伝しました。いのちの署名を各地で訴えながら宣伝しました。

西野市議は「4月から消費税が8%に増税されましたが、福祉は切り捨てられる一方です。公明党は平和の党をすてて、集团的自衛権の行使を容認し、戦争する日本に変えようとしています。元自衛官の方は、武器を持たない事が最も大きな武器だったと話しておられます。暮らしと平和を守るために、来年4月のいっせい地方選挙で地方から安倍政権にレッドカードを突きつけましょう」と訴えました。

桃山・醍醐のまちかどで訴える西野市議。(写真左)桃山南団地スーパー前では「いのちの署名」で対話が弾んだ(写真下)



いのちの署名には多くの方が賛同して下さいました。また、車からも「がんばれー」と声をかけていただきました。

市政報告

決算審議 議会報告
(西野市議の質問の一部)

遠距離通学の補助制度拡充を

西野さち子市議は、「桃山中学校では生徒の半数以上が京阪電車の定期券や回数券を購入しているが、交通



西野 さち子 委員 (共産党 伏見区)

費の負担が重い。一方、東山の小中一貫校ではスクールバスとして無料で市バスを走らせている。不公平だ。せめて義務教育だけでも交通費負担をなくす制度が必要だ」と求めました。理事者は桃山中学等と小中一貫校の負担に「整合性が取れていない。工夫できないか検討する」と答弁しました。

市営住宅の改修を

また、「市営住宅の空屋が多い。応募率は高い所は100倍の所もある平均でも6〜7倍。改修して入居を増やすべきだ。今の市営住宅の戸数を減らす計画を見直すべきだ」と求めまし

た。

ところが、京都党の議員からは「民間の空き家が多い。空き家を減らすために市営住宅は無くすべきだ。」と市民の願いに背を向ける発言がありました。

天ヶ瀬ダムの放流と宇治川堤防の強化

昨年の18号台風や今年の長雨時に天ヶ瀬ダムから大量の水が長期にわたって放流されました。それに伴って排水機場も長期間の運転になった。計画的な放流と宇治川堤防への影響調査をした国の情報を市民に公開し、市民の安心安全を守る立場を求めました。

職員削減をやめて危機管理体制の強化を

西野市議は市長に直接質問しました。「市長は自分が市長になってから2783人の職員を減らしたと鼻高々におっしゃるが、今年の大雨で、災害対策本部は40時間の連続勤務があり、排水機場担当の職員が最高で53時間の連続勤務をしなければならなかった。これで市民の安全は守れない。職員削減はやめるべきだ」と求めました。

